

SSKS

2025. 6月号

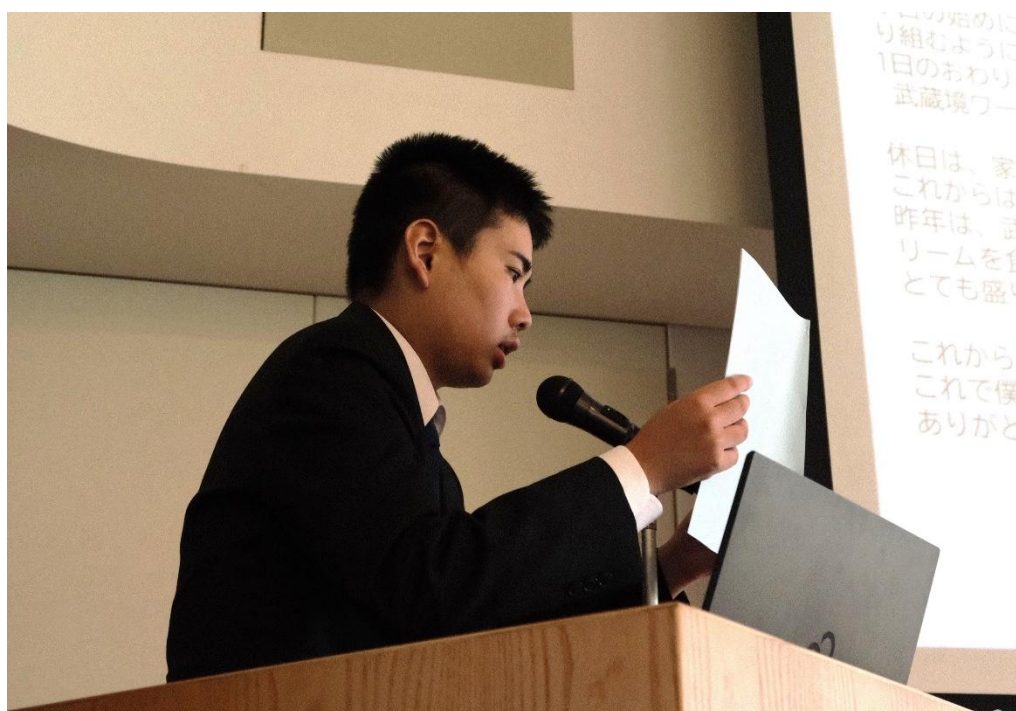
No. 575

せんかわだより

～あるがままに あたりまえに～



令和7年度法人事業説明会を開催しました



武蔵境ワーキングセンターの岡崎拓海さん

入所4年目。「はたらく」を通じて成長した自分と、これからの目標を語っていただきました

5月13日（火）、武蔵野プレイスにて「特別支援学校等保護者向け法人事業説明会」を開催し、60名以上の方に参加いただきました。法人の理念、計画や各事業のとりくみについて説明するとともに、利用者代表挨拶では「私のはたらく」をテーマに作業所での役割や夢を語り、大きな拍手に思わずはにかむ場面も。温かな空気に包まれたひとときのなか、当法人の活動を多くの方に知っていただくことのできる貴重な機会となりました。



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>



卒業後の新しい生活を見据えて

～社会人としての第一歩～

新年度、武蔵野千川福祉会は新利用者を5名迎え、活動を開始しました。

通所部門の就労支援部では、生活介護事業3事業所と就労継続支援B型事業5事業所の8事業所で利用者のニーズや身につけてもらいたい態度に合わせて機能分化し、活動を提供しています。

入所後の生活のイメージを持っていただくため、当法人主催の「夏季インターンシップ Let's 夏のしごと体験（以下、インターンシップ）」と学校主催の職場体験実習の受け入れに力を入れています。

インターンシップは当法人独自のとりくみとして、特別支援学校等の夏休みの期間を利用し、1～3年生を対象として、卒業後の「はたらく」、「くらす」の見通しをご本人、ご家族に持っていただく機会としています。このインターンシップの経験を生かしていただき、学校主催の職場体験実習を2年生の後期実習、3年生の前期実習と後期実習を行ない、実習を通して卒業後の進路を選択します。これらの体験を経て、卒後4月からの事業所での新生活へとつながっていきます。

ななほしワークスへ通うことになったAさんと、武蔵境ワーキングセンターに通うことになったBさんは入所式が終わると、職員と一緒に配属先である事業所へ移動しました。

「おはようございます！」と大きな声でしっかりとあいさつをし、事業所の中に入っていく姿には不安な様子もなく、以前から通い慣れた事業所であるかのようです。ここに至るまでに、2人はさまざまな体験を経てきました。今回は2人のこれまでの経過をお伝えします。



【辞令をしっかりと受け取ります】

初めてのインターンシップ

Aさんが初めてななほしワークスに来たのは、2年生の夏のインターンシップです。初めての場所で、ななほしワークスがどのような所なのか不安いっぱいといった様子で過ごしていました。不安げな表情で、「お母さん、いつになったら迎えにくる？」と職員に問いかけます。職員はAさんの気持ちを受け止め「不安ですね。16時になったら、迎えにきますよ。」と、一つずつやりとりを大切にしながら関わっていききました。

活動が始まり、封入作業を行なっているときにも同様の質問をくりかえします。その都度でいいに答え、本人の不安な気持ちを受け止めつつ、できたことをしっかりと評価していきます。職員とのかかわりの中で、初めてのインターンシップ5日間を無事に終えることができました。

ひとつずつ乗り越えて

インターンシップを経験して臨んだ学校主催の職場体験実習は、本人、保護者、進路担当の先生と面談し、2週間という長い期間を本人が安定して過ごすことを目標にしました。職場体験実習中には

学校から先生が巡回に来て本人を励まします。2年生の後期実習は何とか2週間やりきることができました。3年生の前期実習では、他法人の就労継続B型事業所でも現場実習をすることになりました。他法人の実習も体験したことから、本人や保護者の中で「自分に合った事業所で安定して過ごす」ということが進路選択の方向性として定まっていきました。

Aさんは環境の変化に不安を感じやすい反面、経験を積むことで安定して過ごすことのできる力があることがわかってきました。初めてのインターンシップでは関わる職員を固定していましたが、3年生のインターンシップでは他の利用者と同じように集団の一員としてかわりました。初めのうちは不安げな表情でしたが、職員がていねいにかかわることで、混乱することなく安定して終えることができました。3年生後期実習では、職員1人ひとりの名前と顔を覚え、「〇〇さん、こんにちは！よろしくお願いします！」と声をかけてくれるようになりました。

入所してまだ2カ月。職員と一緒にひとつずつ乗り越えて、大人へと成長いくことを期待しています。

目標を持って

4月から武蔵境ワーキングセンターに入所したBさんは、2回の職場体験実習を通して目標を立てていました。それは「話しかける適切なタイミング」です。作業はとても集中してとりくむことができていましたが、職員が電話をかけている最中に報告しようとする場面が多々見られました。そこで3年生前期の現場実習では、話しかける前に相手の状況を確認しようという目標を立ててとりくみました。「話しかけても大丈夫かどうか呼吸おいて考えてみましょう」と伝え、何度かうまくいかないこともありましたが、そのような時はどのようならよかったのかを職員と一緒に考え、次に活かすようにとりくみました。



【作業中は集中して】



【絵を描いて気分転換】

後期現場実習では、状況を確認したうえで「〇〇さん、すみません、よろしいでしょうか」などの言葉遣いにとりくみました。2回目の実習になると、成功のほうが多くなり、報告する声も大きくなってきました。

現在のBさんには、実習の時のような不安そうな表情はありません。自信を持って職員に話しかけています。休憩中は、好きな絵を描いていることが多いBさん。絵を描くことが好きな利用者と絵の話をしたり、描いた絵を見せ合ったりして過ごしています。実習中には、あまり他の利用者に関わる姿は見られませんでした。笑顔で絵を見せ合っているBさんを見ると、少しずつ事業所にも慣れてきたように感じます。

次のステージへ

作業や活動を通じて、職員は利用者とのかわりの中で一人ひとりの変化に気づくとともに、支援の質を日々向上させていくことが求められます。利用者が事業所の一員・社会の一員と感ずることができ役割を担うことで達成感を得る経験を積み、成長し続けることができるようにこれからも邁進していきます。

（文責：ななほしワークス 東 竜太郎／武蔵境ワーキングセンター 川島 信敬）

きょうされん第48次 国会請願署名・募金活動 ご報告

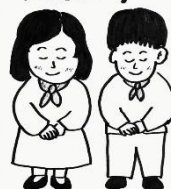


署名数 633 筆 募金額 79,300 円

きょうされんが結成以来続けてきた、48 回目の国会請願署名・募金活動が終了しました。障害のある人や事業所で働く職員の声、障害のある人や職員の実態を広く伝えるためにも、集めた署名は国会に届けさせていただきます。

皆さまのあたたかいご支援、ご協力ありがとうございました！

Thank you



【とびっくす】～インスタだより vol.24～ #車いす清掃



チャレンジャーの利用者2名が週に2回、施設外就労として車いすの清掃作業にとりくんでいます。

レンタル使用され戻ってきた車いすを、水、洗剤、ブラシなどを巧みに操り、ピッカピカの状態にします！繁忙期には台数も増えますが、「今日は20台頑張ったよー」と笑顔で帰ってくる姿を見ると、こちらまで誇らしい気持ちになります！！



今月の動向 ～令和7年5月～

- 1日(木)学ぶ学習会、B型事業所学習会
- 7日(水)旧坪野邸・市長見学
- 10日(土)きょうされん東京支部総会
- 11日(日)生涯発達・地域生活支援研究会
- 13日(火)法人事業説明会、親子ひろば
- 14日(水)所長会議
- 15日(木)監事業務監査
- 16日(金)おひさま親子遠足
- 20日(火)常任理事会
- 22日(木)監事会計監査
- 23日(金)実習調整会議
- 26日(月)管理者研修

来月の予定 ～令和7年6月～

- 5日(木)理事会、全体研修「倫理」
- 8日(日)生涯発達・地域生活支援研究会
- 10日(火)親子ひろば
- 12日(木)地域生活支援部・生活介護学習会
評議員選任・解任委員会
- 16日(月)全体研修「倫理」
- 18日(水)所長会議
- 24日(火)常任理事会、評議員会
- 25日(水)幼児児童学習会
- 24日(木)常任理事会



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会
<http://www.musashino-senkawa.com>